

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム宝生苑

目標達成計画

作成日: 令和 3年 4月 16日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	入居者に対する気づきや相手の方の話した内容をノートに書いてその情報を共有することはしているが、相手の方がどう思っているかまでは話し合われていない。そのため入居者本位のケア、入居者の気持ちを考えたケアが実践できていない。	入居者についての気づきやその方の気持ちを介護スタッフが相互に共有でき、その気づきなどから入居者の想いをおもんばかり、日常のケアに活かすことができるようになる。	情報共有のためのツールの導入とパーソンセンタードケアの考え方等を使用した入居者の立場にたったケアのあり方の勉強会を推進する。	4ヶ月
2	26	介護計画作成に当たり、本人・家族の意向確認を行い、その上で計画作成担当者、介護職、看護職でサービス担当者会議を開催しているが医師や管理栄養士を含めた多職種が協働しての計画書の作成はできていない。	介護計画更新時期にあわせて開催するサービス担当者会議時に介護、看護に加え、往診医や管理栄養士など多職種を意識した介護計画書を作成する。	往診医の往診時に担当者会議ができるよう日程調整を行うもしくは計画作成担当者が不在の場合でも照会内容を記載いただくなど、聴取した意見を介護計画に反映していく	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。